

学校と福祉機関の連携支援事業 ～トライアングルプロジェクトおの2020～

モデル校 小野市立小野特別支援学校

- 対象障害 知的障害
- 設置学部・学級数 小学部7学級・中学部4学級 計11学級
- 児童生徒数 小学部22名・中学部13名計34名 (R2.4.1見込)
- 障害種別 単一障害29名(知的)重複障害6名(肢体・病弱)
- 教職員数 30名(県費負担教職員)
8名(市費負担 介助員3,看護師4,用務1)

福祉機関等との連携の現状

- 放課後等デイサービス事業所の利用者の増加
市内7事業所へ、本校児童生徒80%が通所
- 放課後等デイサービス事業所との定期連絡会、ケース会議の開催
市内7事業所関係者と災害時の対応等について協議、情報共有
- 放課後等デイサービス事業所への巡回訪問
長期休業中、教員が市内各事業所を巡回し児童生徒の状況を確認
- 放課後等デイサービス職員の本校オープンスクールへの参加
- おの特教育相談会の開催 月1回(小野市発達支援室)

期待される効果

一貫した支援による児童生徒理解の推進

- 連携のための個別の支援計画の作成・検討
- ケース会議の実施→具体的な支援方法の確認
- 保護者の相談窓口の設置→保護者の安心へ

学校と福祉機関との連携が密接に

- 児童生徒の情報共有→一貫した指導が可能
- 災害時の対応の共通理解→連絡調整体制の
確立、危機管理の推進

センター校として小中学校・地域へ発信

- 小中学校教職員へ理解啓発→相互理解の推進
- 連携のための個別の支援計画の作成と検討
- 地域連携フォーラムの開催→保護者子どもが元気に

『トライアングルプロジェクトフォーラムⅡ in おの』～みんなが明るく元気いっぱいに～の開催

家庭・教育・福祉の連携による、一貫した支援体制の構築

目的

小野市教育委員会

学校と放課後等デイサービス事業所との連携を促進し、特別支援学校在籍児童の支援の充実を図るため、学校と放課後等デイサービス事業所とのスムーズな引き継ぎ方法や連携体制を確立するための調査研究を行い、その成果を普及する。

事業内容

- ◎調査分析支援員の配置(小野市発達支援室)
学校と放課後等デイサービス事業所の連携について現状と課題を分析。保護者相談の対応。教員への支援・助言。
- 放課後等デイサービス事業所との連携のための個別の支援計画、マニュアル、ガイドブックの作成
- 放課後等デイサービス事業所との連絡会の定期開催
- 放課後等デイサービス事業所への巡回訪問
- 放課後等デイサービス事業所とのケース会議の開催
- 相互理解のための地域連携フォーラムの開催
- 小中学校教職員等への説明会の開催による理解推進